

新規就農先輩の軌跡 No.128

<2020 (R2) 6月掲載>

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="197 273 767 734" data-label="Image"> </div> <p>氏名：大坂 宇津実 住所：兵庫県丹波篠山市 年齢：26歳</p>	<p>農地：300a（借地300a） 施設：4a 経営内容： ・丹波黒 200a ・枝豆 50a ・小豆 10a ・その他ビニールハウス、野菜類 労働力：本人、臨時雇用 3名 出荷先：飲食店、個販、量販店</p> <div data-bbox="896 703 1390 1070" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="959 1084 1329 1144" data-label="Caption"> <p>同年代のメンバーと営農中</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点・苦労した点</p>
<p>2016年 神戸大学大学院中退 2017年 丹波篠山市に移住 2018年 就農 2019年 生産規模拡大 ハウスを建設 2020年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 ・ビジネスチャンスは多い ・作ったもの食べられる ○苦労した点 ・資金繰り ・生産技術</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>農業の現役世代がリタイアし、数年のうちに大規模な世代交代のタイミングが来ると思い就農した。他産業と比較しても一次産業には伸びしろがあり、ビジネスチャンスがある。またこれから他分野事業との連携も取りつつより多角的な経営ができると思った。</p>	<p>既存の販売ルートのある産地の特産品目を生産したり、個々で見出した販路に合った品目を栽培したり、農業には様々な形態・規模があると思います。これが正解というものではなくて、自分の理想とする営農像をしっかりと持って立てた目標に向かって毎年計画と実行あるのみだと思います。楽しみつつ、頑張りましょう！</p>